

# 9月定例会

# 市政に関する 一般質問

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をただすものです。9月定例会では、9月21日に一般質問が行われ通告順に5名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は、「匝瑳市議会会議録」をご覧ください。

教  
育

問 今日、通学路の安全対策に求められているのは、官民の知恵を結集し、意識改革を見据えた総合的通学路の安全対策である。本市においても緊急合同検査が実施されたが、その結果は。

**答** 本年7月中は、小学校全校の通学路を対象に、事前調査で抽出された59か所すべてについて合同点検を実施しました。点検結果で対策の実施が未定とされた箇所が28か所ありました。内訳としては、学校からの横断歩道及び歩道の設置要望、スクールゾーンなどの路面標示、通学路の変更などです。

**問** 市の小中学校就学援助制度について支給要件と対象件数、平成22年度から今までの支給実績その他どのようか。

**答** この制度の支給要件は経済的な理由で就学が困難な市内在住の児童生徒の保護者であります。対象件数は本年7月末日現在、小中学校合計で要保護7名、要保護110名です。支給額の実績は、平成22年度810万5、333円、平成23年度996万6、854円で、今年度は7月末日現在で391万1、022円です。

については、1点目として  
交通ルールをきちんと守る  
などの基本の徹底、2点目  
として主体的に行動する力  
を身につけさせるためのよ  
り実践的な交通安全教育と  
指導に重点を置きながら、  
日常の登下校などに努めて  
まいります。

災害時は避難所としての機能を維持でき、防災機能も兼ね備えた施設となるよう検討してまいります。

教育委員会としても、今後、地域の皆様と協議しながら建設を進めてまいりたいと考えています。

問 この夏、須賀少年野球チームが県大会で優勝、卓球の八日市場クラブチームが全国大会に出場、野菜スボーツ少年団が関東大会で優勝するなど、市内で活躍しているチームがいくつある。

これらのチームに対しても市体育協会が表彰を行っているが、市からの表彰や全国大会、関東大会への出場に対する助成などは一切ない。スポーツ振興につい

してほしい”というのが切なる要望であり、その点を十分に理解して設計をお願いしたい。

問 災害に強いまちづくりは時代の要請である。今、最も大事なことは、老朽化した社会基盤の再構築に集中投資し、防災減災対策として市民の生命と財産を守るとともに、地域経済を守ることである。

そこで、当市の公共施設の老朽化対策を含めた耐震化と防災機能の強化策について、インフラ老朽化対策を含めた災害に強いまちづくりの工程表の策定について伺いたい。

は、体育協会から激励費の形で一律に支給されています。また、市からは体育協会へ補助金として総額支給していますので、その中の運用をお願いしています

防災対策

震改修計画は、第二中体育场館は平成25年度から2か年で建て替えを予定し、八日市場保育所は平成25年度に耐震改修を実施する計画となっています。

道路や橋梁をはじめとする社会インフラの老朽化対策や都市防災機能の向上对策等、災害に強いまちづくりへ向けた各種事業の実施に当たっては、総合計画を

A group of people, including military personnel in camouflage uniforms and hard hats, gathered around a table with a large red power saw, examining it.

**問** 東日本大震災後に地盤  
防災の意識が高まり、共に  
ます。

当計画の見直しについて、  
今年度中に実施予定の津波  
防災アセスメント調査の効  
果を検証し、来年度に予定  
の地域防災計画の改正とし  
わせて行いたいと考えて、  
見直されました。

9月30日に行われた市総合防災訓練では自衛隊員が参加のもと

その基礎資料とするために、  
今年度に津波防災アセスメント調査を実施し、その結果をもとに被害想定をします。  
**問 少子・高齢化時代を迎える地域防災のかなめである消防団の維持・継続のための後継者不足対策について伺いたい。また、消防団員**

本年4月に県は新たな津波に関する調査結果を公表しました。これによると、本市最大の津波高は従前の4・7メートルから7・8メートルに引き上げられ、あわせて津波高10メートルになつた場合の浸水予測図も公表されました。市では平成25年度に地域防災計画

被害を最小限にとどめる減災の考え方であると認識しています。また、自助、共助、公助が一体となつて市内全地域の防災力の向上を図つていかなければならぬと考えています。このことから住民自らが災害から住民や地域を守ろうと活動している「共興を守る会」に敬意

もとに、計画期間を3か年として毎年見直しを行うを施計画に計上し、計画的・推進を図つてまいりたいと考えています。

問 県の津波想定規模の見直しに伴い市の津波避難計画を見直すことになつたばい。その基本的な考え方は。

答 津波避難計画の概要を全戸配布し周知を図りましたが、その後県の調査結果が公表され、本市の最

地区では自主防災組織の井興を守る会が結成され、防災知識の周知や啓発活動を行っている。そこで、市の地域防災に対する基本的な考え方。

市における津波の予想される高さは、どれくらいを想定しているか。また、それによつてどれくらいの被害が出ることになるのか。

答 防災対策の基本は、災害の発生を完全に防ぐこと